

平成27年度 「特色ある学校づくり対策事業」実践事例



佐世保市立黒島小学校

佐世保市黒島町2608-10

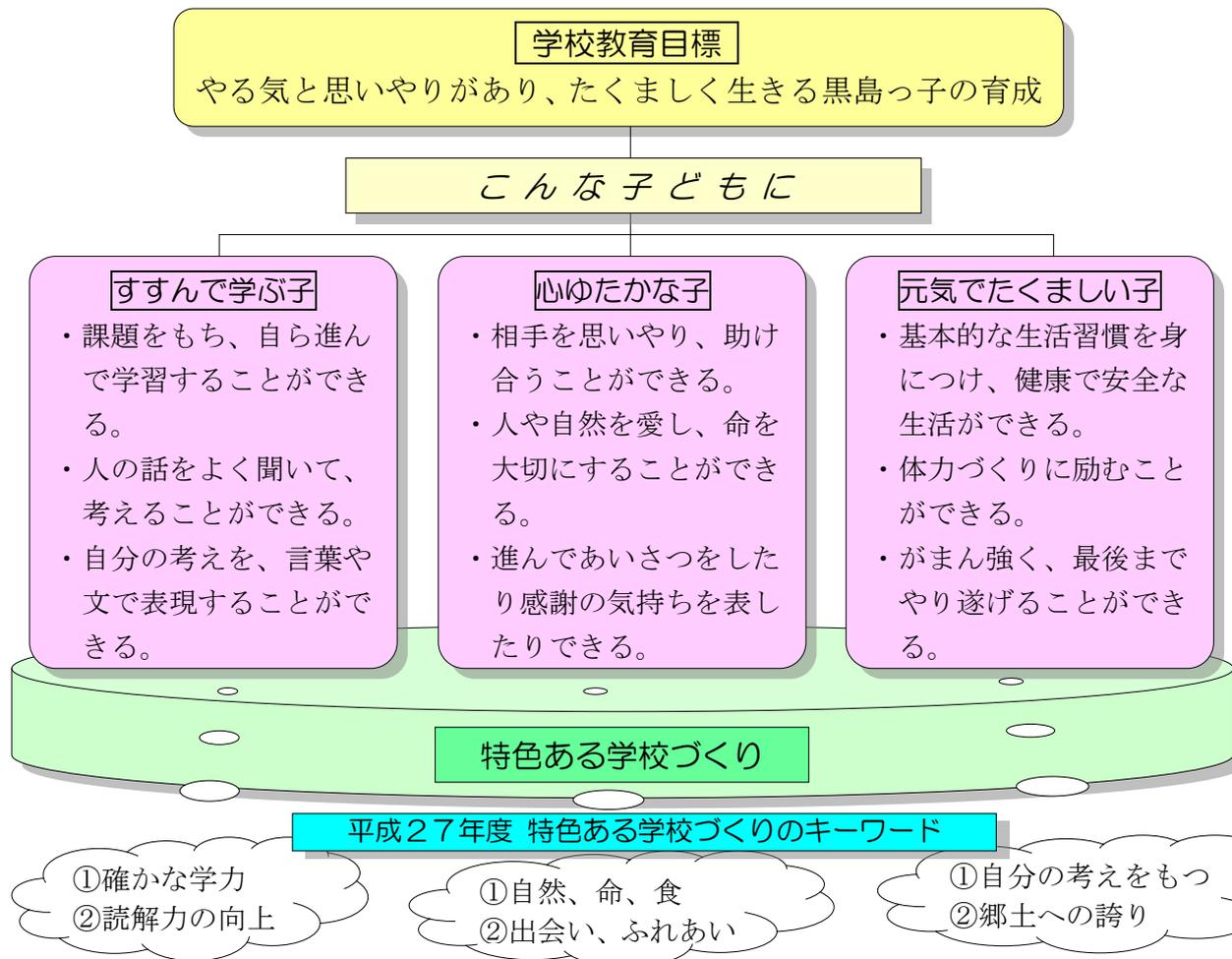
校長 月川 英昭

児童数 12名 学級数 3学級

(平成27年5月1日現在)

1 目的

学校教育目標 「やる気と思いやりがありたくましく生きる黒島っ子の育成」に基づいた、本校のめざす児童像「**すすんで学ぶ子 心ゆたかな子 元気でたくましい子**」の具現化のため、特色ある学校づくりを推進します。



今年度、黒島小学校は黒島中学校と小中併設校として二年目を歩み出しました。

特色ある教育活動を具現化する際、めざす3つの児童像に基づき、児童や学校の実態、地域性などに加え、併設校としての在り方を考え併せました。

郷土黒島に誇りをもち、たくましく生きる黒島っ子の育成をめざしています。

2 実践内容

(1) すすんで学ぶ子

① 確かな学力を身に付けた子どもを育む

〔校内研修〕

全国学力・学習状況調査や県学力調査、市学力調査等の各種学力調査を検証軸としたP D C Aサイクルを確立し、校内研修の充実を図っています。

職員は早期に結果の分析を行うことで、なぜこの問題が解けなかったのか、指導にどのような手立てが必要なのかを意識して指導に当たりました。

また、研究授業は小中合同で行う機会を設け、小中職員が合同で研究協議を行い、研修の効果を高めています。



<研究授業>



<はげみ学習>

〔はげみ学習・すくすくタイム〕

算数の基礎的・基本的な力の定着を図るための時間として朝の活動に「はげみ学習」を設定しています。今年度は特に、個に応じた課題に取り組みさせることをめざし、個別の問題を準備して取り組みせました。

また、国語の基礎的な力を高めたり表現力を磨いたりする場として「すくすくタイム」を設定しています。ここでは国語の問題のほか、詩の朗読や暗唱に挑戦させています。朗読・暗唱は学校公開の折、発表しました。

② 読解力の向上を目指して

〔読書の質の向上〕

学力向上へ取り組む中で、語彙力を高めることや多様な表現に親しむことの必要性を感じ、読書の質の向上に力を入れました。図書交流会は、児童が、互いに自分の読んだ本の紹介をし合う会です。確かな読みに加え、相手に伝える表現の力も求められます。異学年グループで行う交流会は価値ある取組になりました。

また、国語学習とリンクした読書を行うことで、学習効果を高めるよう努めています。



<図書交流会>

(2) 心ゆたかな子

① 自然や命、「食」の大切さを実感する子どもを育む

〔かんころ作り〕

学校農園にさつま芋の苗を植えて自分たちで育て、収穫しました。収穫したさつま芋を使ってかんころ作りを行いました。芋苗植えとかんころ作りの際には、地域の方にゲストティーチャーとして来校いただき、指導を受けました。

かんころができた後は、保護者・地域のみなさんとともにかんころ餅作りを体験しました。一連の学びの中で、地域の食への関心を高めたり地域や保護者の方へ感謝の気持ちをもったりすることができました。



<かんころ作り>

② 出会い、ふれあいを大切にする子どもを育む



<ふれあい給食>

〔交流給食・ふれあい給食〕

本校では毎月1回、全校児童と職員が共に給食を食べる交流給食を実施し、栄養教諭と養護教諭が、給食を通してよりよい食や健康な過ごし方について指導をしています。

また、6月の学校公開週間と、1月の学校給食週間には交流給食の拡大版として保護者及び地域の方をお招きしてふれあい給食を実施しています。全ての家庭に加え地域の方にも多数ご参加いただき、子どもたちが多くの方に見守られているという実感をもつことにつながりました。

〔大規模校訪問〕

全校児童で相浦西小学校を訪問しました。到着してすぐに参加した全校朝会では約600名の西小児童を前に圧倒されている様子でしたが、各学級に入れていただいてからは徐々に慣れ、友達もたくさんつくることができました。

授業、給食、休み時間など普段自分たちが過ごしている黒島小学校とは異なる大人数の学校生活を目の当たりにすることで、驚きと共に多くの人との関わり方について考える大変よい機会になりました。

今後も仲良くしていきたいと考えています。



<相西小全校朝会に参加>

(3) 元気でたくましい子

① 郷土を愛し自分の考えを確かにもつ子どもを育む

〔長崎短期大学訪問〕

3・4年生が長崎短期大学を訪問し、大勢の大学生の前で、総合的な学習の時間を使って調べたり考えたりしてきた「黒島パワーアップ作戦」について発表しました。

大学生も黒島や高島について調査・研究を進めているということで、児童の発表を真剣に聞き、島外の方の立場から質問や助言をしてくれました。

緊張しながらもプレゼンをやり遂げた子どもたちは、いただいた意見を取り入れて、自分たちの考えを具現化しようと意欲を高めていました。



<長崎短大でプレゼン>



<黒木小児童と交流>

〔大村市立黒木小学校訪問〕

5・6年生が大村市立黒木小学校を訪問しました。

総合的な学習の時間に自分たちで考えた黒島を活性化させるためのプランを発表して感想や意見をいただいたり、給食や休み時間を共に楽しく過ごしたりしました。

黒木小学校のみなさんには、興味をもっていた特別転入学制度についてお話を聞きました。また、名物の黒木太鼓を披露していただき勇壮な響きに感動しました。

環境の異なる小規模校同志の交流により、多くの価値ある学びを得ることができました。

② 郷土のよさを感じ取る子どもを育む

〔漁業体験〕

2・3・4年生が、漁業体験を行いました。保護者の方が漁師であったり、日頃から釣りをしたりしている子どももいるのですが、ここでは実際に漁業について調べ学習を行い、漁師さんの仕事について改めてそのやり甲斐やご苦労などのお話を伺いました。

黒島の基幹産業ともいえる漁業について、よさや大変さを知ることができ、職業としての漁師を感じ取ることができ、機会になりました。



<漁業体験>